

政策評価調書(元年度実績)

政策名 恵まれた環境の未来への継承 ～おおいたうつくし作戦の推進～	政策コード I-4	関係部局名 生活環境部、商工観光労働部、農林水産部、土木建築部
---	--------------	------------------------------------

【Ⅰ. 政策の概要】

生物多様性や自然環境の保全と適正利用につながる取り組みや、3Rの推進、循環産業牽引企業の育成など、循環型社会づくりとともに、地球温暖化対策や環境教育などを推進し、地域活性化型の環境保全活動として「おおいたうつくし作戦」を進め、美しく快適な大分県を実現する。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

施策名	指標評価	総合評価
1 豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造	達成	A
2 循環を基調とする地域社会の構築	概ね達成	A
3 地球温暖化対策の推進	達成	A
4 すべての主体が参加する美しく快適な県づくり	達成	A

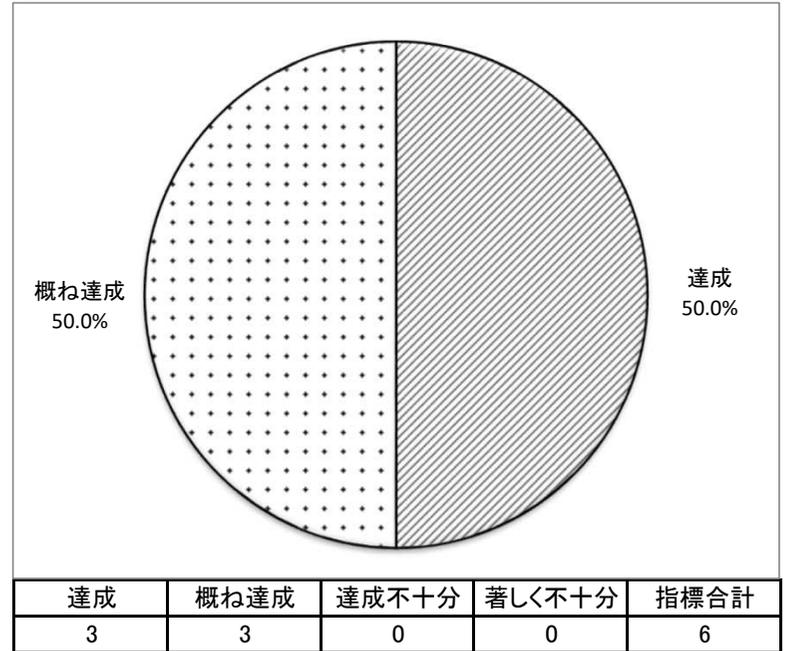
【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

本県は、緑豊かな山野、清らかな河川、変化に富んだ海岸線、源泉数・湧出量ともに日本一を誇る温泉資源のほか、姫島、豊後大野の日本ジオパーク、国東半島・宇佐地域の世界農業遺産、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークなど、多彩で豊かな自然環境に恵まれている。

しかしながら、近年、地球環境を取り巻く情勢はめまぐるしく変化している。温暖化対策の中でも最重要事項である温室効果ガス削減については、二酸化炭素排出の実質ゼロを目指し、脱炭素社会に向けた取り組みを加速させるとともに、温暖化の影響を軽減するため、気候変動の影響への適応策を拡充させる必要がある。また、顕在化する海洋プラスチックごみによる環境汚染や環境負荷を増大させる食品ロスの問題などの新たな環境課題やSDGs(持続可能な開発目標)への取組も求められている。

引き続き、かけがえない恵み豊かな環境を将来の世代へ継承するため、「第3次大分県環境基本計画」に基づき、各種環境施策を推進するとともに、「おおいたうつくし作戦」をさらに展開させ、県民、事業者、行政が一体となって取り組みを進める必要がある。

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—